

JPDA 3 月定例理事会議事録

日 時：平成 29 年 3 月 8 日（水）午後 1 時 30 分～午後 5 時

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5 階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事 23 名中 21 名（加藤芳夫、青木(入江)あずさ、伊藤 透、井上 聡、

牛島志津子、畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、

加藤(桑)和美、加藤憲司、小原 司、竹内清高、中越 出、中森恭平、

信藤洋二、永島 学、藤田 隆、森 孝幹、山崎 茂)

欠席届（永田麻美、八木勇達）

理事候補 1 名（佐野暁子(文胡)）

監事 2 名中 2 名（池田 毅、時田秀久）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者 21 名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、池田毅監事、時田秀久監事の 3 氏であることを確認し、議事に入る。なお、当日の理事会で代表理事に選任された伊藤透副理事長にも規定により議事録に署名いただくこととした。

また、第 6 号議案の審議に入る前に、2 月 2 日に急逝された代表理事・副理事長の田川雅一氏のご冥福を祈って 1 分間の黙祷を捧げた。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

第 1 号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会申込み法人 2 社、個人 4 人があり、定款 6 条(会員資格の取得)並に会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人 2 社、個人 4 人の入会を承認した。

(1) 法人会員 (2 社)

<東日本>

株式会社gift (推薦者=時田秀久)

キリン株式会社 (推薦者=時田秀久)

(2) 個人会員 (4 人)

<東日本>

佐藤 新(さとう あらた) (推薦者=高橋 敏)

瀬古典子(せこ のりこ) (推薦者=時田秀久)

土田愛子(つちだ あいこ) (推薦者=神谷利男)

<西日本>

大平聡美(おおひら さとみ) (推薦者=神谷利男)

第2号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届を提出した法人会員1社の休会を承認した。

(1)法人会員(1社)

<東日本>

エイピーピー・ジャパン株式会社(自社都合により)[平成29年2月~31年1月]

第3号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した個人会員4人の退会を承認した。

(1)個人会員(4人)

<東日本>

岡田宏三(高齢及び病気入院により)[平成29年1月末日退会希望]

樽見星爾(一身上の都合により)[平成29年1月末日退会希望]

松尾 太(一身上の都合により)[平成29年2月末日退会希望]

<西日本>

野上周一(業務縮小のため)[平成29年3月末日退会希望]

第4号議案 正副理事長報告

加藤理事長から下記の報告があった。また、下記の内容が補足された。

ジャパンパッケージングコンペティションでは、JPDA賞に今代司酒造の日本酒「錦鯉」、経済産業大臣賞は明治の「ザ・チョコレート」であったこと及び、3月3日に開催された「おいしい東北パッケージデザイン東京展」のオープニングトークに出席したことが案内された。なお、「おいしい東北パッケージデザイン展」を運営してきたJAGDAの情報では、次回からの運営は辞退するとのことで、JAGDAからの要請で支援してきたJPDAの次回からの対応は今後の検討課題とした。

加藤理事長報告

- ・2/ 3 第56回2017年ジャパンパッケージングコンペティション
(主催:日本印刷産業連合会)審査員として出席。
- ・2/ 7 D-8運営会議に出席。山崎事務局長同席。
- ・2/ 8 (公社)日本印刷技術協会「PAGE 2017」オープニング式典
に山崎事務局長が代理出席。

- ・4/18 第56回2017年ジャパンパッケージングコンペティション
(主催：日本印刷産業連合会)授賞式でJPDA賞の授与予定。

田川副理事長報告 ・2月2日ご逝去のため報告事項はありません。

第5号議案 平成29年度事業計画(案)及び正味財産増減予算書(案)の承認について

標題の承認案件に関して山崎事務局長から別紙により下記の提案があり、事業計画(案)の文言に一部修正はあったが、出席理事全員の賛同を得て承認された。今期はコンペティション事業の収入は無いが、出版事業の収入が多い年度になり、前年より収入が590万円増加となった。経費では、事業費で国際交流の海外デザイン事情視察準備費が前年予算より33万円増、管理費で租税公課(今期の消費税を勘案し)を前年予算より45万円増、備品購入費(パソコンのリース費用等)を50万円増と見込んでいる。経常費用は収入の増加に伴い、前年より692万円の増加となっている。

総合すると、経常収益は75,281,940円、経常費用は75,220,512円(公益事業費用は51,589,413円で、公益比率は69.4%)となり、当期経常増減額はプラス61,428円となった。経常外増減の部では、退職給付積立金支出の500,000円と創立60周年記念公益事業積立金支出2,000,000円を見込み、当期一般正味財産増減額はマイナス438,572円、一般正味財産期末残高はプラス34,714,501円となった。なお、山崎事務局長の退職に伴う退職金223万円は退職給付積立金の取崩によって対応している。

第6号議案 理事1名欠員に伴う新理事選任の確認について

山崎事務局長から田川雅一氏死去に伴う新理事補充に関し、平成28年5月31日開催の第35回通常総会で補欠理事：東日本・個人 佐野暁子(通称：文胡)氏が承認されている旨の案内があり、佐野暁子氏の理事への繰り上げ当選を確認した。

第7号議案 代表理事(副理事長)欠員に伴う新代表理事の選定

山崎事務局長から田川雅一氏死去に伴う新代表理事の選定に関し、平成28年5月31日に開催された臨時理事会において、副理事長選挙の決選投票で伊藤透氏が次点となった経緯が案内され、伊藤透氏が出席理事全員の賛同を得て新代表理事(副理事長)に選定された。

第8号議案 広報担当及び総務担当理事の選任について

山崎事務局長から標題の件に関して下記の説明があり、出席役員全員の賛同を得た。

- (1)新たに広報担当理事(東日本)は選任せず、永島理事(西日本)が中心となり東日本の広報委員(津島氏・小野氏等)の協力を得て広報誌発刊を推進する。
- (2)現在、デザイン保護担当理事の小川亮理事に総務担当理事を兼務いただくことになった。

<決済事項>

○展覧会・西日本（「日本を包む」展・討論会&新年交流会）

- ・中森理事から、「日本を包む」展（東京・大阪）及び討論会&新年会について収支計算報告があり、公益会計は収入2,503,900円、協会補助798,000円、支出合計3,183,169円、収支差額+118,731円、法人会計は収入415,400円、協会補助0円、支出合計411,156円、収支差額+4,244円を承認した。なお、法人会計のタイトルは「日本を包む」展及び西日本新年交流会に訂正した。

開催日時：平成29年1月10日（火） 討論会 17:00～18:00 新年交流会18:30～21:00

開催場所：大阪梅田 ブリーゼブリーゼ 8F

出席者数：64名（会員60名、新入会員2名、一般2名）

西日本事業「ひらく」の第3回は、年末年始に開催した展覧会事業と合わせて同会場であったブリーゼブリーゼ 8F にて「日本を包む」討論会 & 西日本新年交流会を行った。パネリストに牛島理事、小川理事、関西の竹林氏、坂東氏を迎え豊富な知識、経験から「うつくしい日本語とパッケージ」について討論してもらった。4人が大切にしている故郷の言葉であったり、言葉が表す心模様であったりと様々な角度からパッケージデザイナーとしての意見をもらうことができた。

その後、行われた新年会では加藤理事長をはじめ田川副理事長、池田監事、大森さん、岡さんから協会の未来、そして協会員としての在り方について熱いご意見をいただくことができた。

- ・引き続き中森理事から、「日本を包む」大阪展の実施結果が報告された。

開催日時：平成28年12月26日（月）～平成29年1月11日（水）

開催場所：大阪梅田 ブリーゼブリーゼ 1F メディアコート

出展者数：113名（会員100名、非会員3名）

創作展「日本を包む」展を大阪西梅田のブリーゼブリーゼで開催した。来場者数は15日間で10,279名。東京展の6,702名と合わせ約17,000名の方々に見てもらうことができた。今回は特設サイトを導入しSNS (facebook, instagram) を介しての配信や、一般参加者向けのワークショップを開催し、パッケージの魅力を伝えることが出来た。

「継続と革新」を掲げるJPDAとしては「革新」にあたる新たなチャレンジになったと思う。これから2020年まで続く展覧会事業として「継続」的にパッケージの魅力、JPDAの存在意義を発信していけたらと考えている。なお、今回の来場者拡大にはブリーゼブリーゼ・オーナーの情報発信力に負うところが大きかったと感謝している。

○東日本（2016 Talk cafe）

- ・竹内理事から、トークカフェ2016「20代の挑戦、成し遂げるストーリー」について収支計算報告(公益会計)があり、収入153,500円、協会補助99,500円、支出合計156,472円、収支差額+96,528円を承認した。

開催日時：平成28年12月1日(木) 討論会 18:30~20:30

開催場所：3331 Arts Chiyoda

出席者数：66名（会員50名、一般3名、学生13名）

トークカフェ2016は「レクサスデザインアワード2016」で1232作品の中からグランプリを受賞したデザインユニットAMAM（アマム）の荒木宏介氏、前谷典輝氏、村岡明氏の3名を招き、「20代の挑戦、成し遂げるストーリー」と題し、受賞作品である「寒天を使った梱包材」における発想の出発点からプロトタイプ化までの道のり、今後の展望を語ってもらった。今回受賞した寒天製梱包材は、土壌の保水力を向上させる効果があり、海に流れた場合も海洋生物を害さないという環境保全性に優れた利点を持ちプラスチックの未来を考え直す素材として世界の注目を集めている。

○東日本（2017 新年デザイン交換会）

- ・伊藤理事から、「2017新年交換会について収支計算報告があり、公益会計は収入184,500円、協会補助110,000円、支出合計84,500円、収支差額+194,500円、法人会計は収入1,012,000円、協会補助0円、支出合計992,431円、収支差額+19,569円を承認した。

開催日時：平成29年1月25日(水) 講演会 18:15~19:00 新年交換会19:00~21:00

開催場所：レストランアラスカ 日本プレスセンター店

出席者数：講演会 123名、新年交換会 200名（会員177名、新入会員14名、招待9名）

本年の新年会は日比谷公園を眼下に見渡す「レストランアラスカ」にて行われた。第一部は、新進気鋭の上方落語家である桂吉坊さんを招き、「はてなの茶碗」の演目を披露いただいた。落語という日本の伝統文化に直に触れるとともに、現代のブランディングにも通じる内容で、当協会の新年会にふさわしい鑑賞会となった。第二部はパーティー形式の賀詞交歓会。加藤理事長の挨拶、官浪辰夫氏・日本空間デザイン協会会長の来賓祝辞・乾杯をいただいた後、歓談に入り、日比谷公園の夜景を眺めながら活発な交流・情報交換を行った。また新入会員紹介も行われ、田川副理事長の中締め挨拶で会の幕を閉じた。交流会参加者は200名を数え、大変盛況であった。

○中日本(北陸地区) (JPDA Talk cafe 2016 in 金沢)

- ・畝野理事から、トークカフェ 2016 in 金沢について収支計算報告(公益会計)があり、収入11,500円、協会補助66,000円、支出合計83,176円、収支差額-5,676円を承認した。

開催日時：平成28年12月13日(火) 17:30~19:00

開催場所：金沢美術工芸大学 研究所棟 企画情報室

出席者数：8名（会員5名、非会員・学生3名）

今年は、富山県出身でトッパンアイデアセンター商品企画部に在籍している竹内清高氏をパネリストとして招き、「Package Topics 2016」と題して、生活者が多様化し続ける現代において、商品パッケージに求められる価値作りについて解説してもらった。生活者ニーズを予想して展開された課題解決パッケージの事例や、その兆しを多く紹介してもらったので、参加者との積極的な質疑応答が得られた。

なお、伊藤副理事長から参加者をもう少し増やして欲しい旨の要請があった。

<報告事項>

○国内交流

- ・梅原理事から11月10日(金)・11日(土)開催予定の「高知・四万十デザイン会議」に関し、現在企画内容を詰めている段階であるが、西日本・東日本の皆さんの要望を企画に反映すべく、3月16日には西日本セミナーに参加して意見を聴取し、3月18日には東日本のメンバーの方々と意見交換の予定であることが案内された。

なお、参加費用の低減に向けての方策は考えられるが、四万十市に対しては、あまりおねだり等はしたくないので、交流会費等に関し地元の参加者には参加チケットを買ってもらうことで全体費用の削減を図り、結果として参加費用の低減に結びつけたいと考えている旨も話された。

○国際交流

- ・森理事から下記の3点が案内された。
 - ・2018年の海外デザイン事情視察に関しては、イギリスでのデザインイベントに参加する形の企画を検討している。
 - ・2016年度のアスパック事業は、アスパックウィークを2017年の1月中旬に開催したが、2017年度は少し早めて今年の12月開催に向け6月スタートを考えている。
この件に関し加藤理事長から、6月では遅く、参加者拡大に向けては大学へのアプローチを早くすべきであるとの提言があった。なお、2017年のタイトルは「チャレンジ」とすることが案内された。なお、西日本の大学・専門学校の先生方には3月中旬に企画の概要を案内する予定である。
 - ・同じくアスパック事業に関し、2016年の入賞作品の巡回展は3月28日から韓国・ソウルにおいて、KPDAの協力を得てソウル国際交流基金の施策として開催予定である。

○コンペティション

- ・小原理事から「日本パッケージデザイン大賞2017」の活動報告が資料に沿って案内された。

(1) 良かった点

- ・受賞者が前回より増加した中、遅れもなくスムーズに進行できた。 ・大賞のサプライズ演出含め、盛り上がりのある贈賞式となった。 ・受賞者、参加者にも満足いただけた模様。

(2) 次回に向けての課題

- ・贈賞式のコンセプトを改めて明確化し、より良い式にしていく。
→ 現在の “ 手作り感のある、温かくカジュアルな贈賞式 “ という良い点は踏襲したい。
- ・受賞者、参加者、(協会、外部) 審査員が、「参加して良かった！」と思ってもらえるよう、会場含め 新しい贈賞式のアイデアを、幅広く検討したい。
- ・細かい進行上の改善点は別途、次回に反映する。
→ 広い会場へ (早期予約化) / バックパネルの精緻化 / 登壇・贈賞段取りの改善 等

なお、次回の審査会場は前回同様「都立産業貿易センター台東館」を予定し、会場申込締切の4月25日に向け、8月下旬から9月初旬にかけての3案に順位を付けて申し込む予定であることが案内された。

※ 中越理事から下記の提言があった。JPDAウェブサイトに掲載した入賞作品の画像に対し、ご本人が希望した内容になっていない旨のクレームがあり、写真撮影時にも本人の希望が確認できるようにして欲しいとの提言があった。

- ・小原理事から、コンペティション委員会から入賞者を「あの人を会員に」方式で推薦する方法が今一つ飲み込めないとの質問があった。この件に関しいろいろの意見が出されたが、理事長が推薦するのが最適であるとの結論に至った。但し、人選及び作品紹介等の「あの人を会員に」フォーマットまではコンペティション委員会で担当してもらいたいとの理事長からの要請があった。

○出版

- ・山崎理事から来期計画中の「年鑑日本のパッケージデザイン2017」出版記念イベントの開催会場を探索中であることが案内された。

○教育

- ・教育セミナー開催中に付き、担当の永田理事は欠席であったが、代わって加藤理事長から、(株)スマイルズさんのワークショップの進め方は大変参考になる内容であることが紹介された。

○広報

- ・永島理事から広報PC・8月号(26号)で急逝された田川副理事長の追悼記事を掲載したいと考えているので、協力いただきたい旨の要請があった。

○インターネット

- ・中越理事から資料に沿って下記の案内があった。
 - ・更新状況
 - ・今後の更新予定
- 展覧会特設サイトでの作品紹介、各種レポート(西日本・ひらく/海外視察/ASPaC事業/デザイン保護/情報の森 他)、会員紹介、マイワークス、会員専用サイトコンテンツ等
- ・JPDAサイト内「委員会通信」コーナー開設に関して、2月に案内された内容が再度案内され、各理事への協力要請があった。

○アーカイブ

- ・青木(入江)理事から資料に沿って下記の案内があった。
 - ・作品保管整理作業打合せ
- 第4回 1月18日(水) 18:00~20:00 段ボール内容リスト作成打合せ
- 第5回 2月15日(水) 18:00~20:00 段ボール内容リスト作成作業及び来期JPDAホームページアーカイブ委員会サイト開設打合せ
- 第6回 2月21日(火) 16:00~20:00 アーカイブ作品29点の撮影(写真添付あり)
- ・来期の活動予定
- 常設展示場場所の探索及びアーカイブ委員会サイト開設
- ※常設展示場場所の探索に関連し、事務局と常設展示場場所を一緒にすることも視野に入れ、2020年頃までに探索してはどうかという意見が出された。
- ・D-8 JDM活動
 - ・D-8ジャパン・デザインミュージアム設立研究委員会
- 1月30日(月) 18:30~20:30 年表を活かした、今後の活動目標の話し合い
- JPDA出席者：青木(入江)理事、柴野委員、松田委員
- 3月1日(水) 18:30~20:30 パイロットミュージアム実現に向けての活動
- JPDA出席者：青木(入江)理事、信藤理事、柴野委員

○デザイン保護

- ・小川(亮)理事から資料に沿って下記の案内があった。
- 1.) HP委員会レポートページの更新
- 1月30日【V o 1 . 87】 「“事例紹介” デザイナーが向き合った意匠権侵害差止訴訟-最高裁までの道-」
- ・情報発信「意匠権侵害に対して登録意匠の創作価値はどう反映されるのか」
 - ・活動報告「D-8(日本デザイン団体協議会)デザイン保護委員会 参加報告」
- 3月2日【V o 1 . 88】 「“事例紹介” 登録意匠の本質的な価値と侵害における意匠権

の力」

- ・情報発信「創作者として意匠権侵害差止訴訟の裁判所の判断を振り返る」
- ・活動報告「D-8（日本デザイン団体協議会）デザイン保護委員会 参加報告」

2.) 平成28年度第5回JPDAデザイン保護委員会 実施 / 3月9日(木)18:30～20:30

3.) D-8（日本デザイン団体協議会）デザイン保護研究会参加

第6回デザイン保護研究会 2月9日(木)18:30～20:00 丸山氏出席

(詳細に関しては、JPDA ウェブサイトで確認ください。)

○調査研究

- ・加藤(憲)理事から、既に実施済みの法人デザイナーへのアンケート調査結果に関し、3月中に報告書を纏め会員に配布予定であることが案内された。

○東北プロジェクト

- ・江藤理事から、昨年東北のメンバーに紹介したアスパック事業に関し、仙台の会員によりワークショップ等の企画が進行中であることが案内された。

○東日本

- ・伊藤理事から次回のトークカフェに関しては、当初のテーマであった協会内若手デザイナーの活性化に向けた企画を検討していきたい旨の案内があった。

○西日本

- ・井上理事から資料に沿って、3月16日(木)開催予定の西日本勉強会・ひらく vol.4「知っておきたいパッケージデザイン 印刷のツボ」が案内された。また、当日は11月10日・11日開催予定の「高知・四万十デザイン会議」の打合せで、梅原理事が参加されることが案内された。

第10号議案 事務局報告

山崎事務局長から下記の報告があった。

- ・平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)、平成28年度事業報告及び収支決算の作成承認に関するスケジュールについて
- ・会員情報について

第11号議案 次回臨時理事会開催スケジュール

日時：平成29年4月19日(水) 午後1時30分～5時

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室A

東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」駅前

議題：定例議題に加え、平成28年度事業活動報告及び収支決算報告承認の件。